

◆講習会等

北中城村のアーサ収穫体験（少年水産教室）

水産業改良普及センター 佐多忠夫、大嶋洋行
水産業改良普及センター本部駐在 中村勇次

1. 目的

県水産物の収穫を体験することにより、地域水産業に関心と理解を持たせることを目的とする。

2. 方法

少年水産教室の一環として、北中城村立島袋小学校6年生59人が参加して、アーサの収穫体験が北中城村のアーサ養殖場で行った。

主催は北中城村地産地消協議会、共催が水産業改良普及センターであり、収穫指導は佐敷・北中城漁業組合の北中城支所が行った。

養殖場に集合した参加者に対して、支所長の田中氏が北中城村のアーサ養殖と収穫方法についての説明後、参加の小学生は養殖の現場に行き、養殖網からアーサの収穫を体験した。アーサの収穫はハサミでアーサを網から切り取る方法で行った。

3. 結果及び考察

参加した小学生は、ほとんどが初めてのアーサの収穫体験であり、楽しそうに上手にハサミを使い収穫を行った。収穫したアーサは各自で持ち帰り、それぞれの家庭でアーサ料理に挑戦するとのことであった。

収穫後に村立給食センターで作られたアーサスープとアーサ肉まんを海岸で試食し、アーサ料理を味わった。多めに用意されたいたアーサスープは、おかわりする参加者が多かった。

この体験をきっかけに、参加した小学生が地元のアーサ養殖やアーサ料理に興味を持っ

てほしいと願うところです。



北中城村のアーサ養殖場



アーサの養殖と収穫について説明する
田中氏



アーサを収穫する島袋小学校の生徒たち



アーサ汁とアーサ肉まんを試食する小学生たち